

ちょっとカルチャーショックでした

技能実習生として日本に来て、初日からベトナムで体験したことがないことに遭遇したQuangさん。

日本へ行くのも初めてで、そもそもベトナムから出たのも初めてでした。

日本はベトナムと大きく違う国のような気がします。日本の空港に到着し、税関を出たら、そこにいた日本人にぶつかってしまいました。

そうしたら、相手は頭を下げて私に謝罪しました。不注意でぶつかったのは私なのに。

謝罪された私は戸惑いました。間違った私はなぜ逆に謝罪されたのでしょうか。ちょっとカルチャーショックでした。ベトナムにいるときは、自分のミスだと認識はできても、謝罪を言葉で伝えるのできないことがたまにありました。

お酢と間違ってしまった

Quangさんと友人たちの日本の生活でのエピソードは少なくありません。

最初の1か月間は組合で研修する私たちは一緒に食事をとっていましたが、ただ、受け入れ企業で働き始めたら、みんな出勤時間はバラバラで、日勤の人もいれば、夜勤の人もいます。それに、人によって好き嫌いがありますので、共同での食事はなくなりました。友人たちと共有したのは米、調味料等だけで他の食材は自分で買って、食べました。

日本へ来たてのころ、私たちはスーパーに油を買いに行きました。色を見てこのボトルは油だろうと判断し、ラベルを確認せずに買ってきました。火をつけて、数分経ってもじゅうーというあげた油の音はせずに、お湯のように気泡が出ました。友人は箸をその油に着けて、味見したら酢と間違ってると言いました。日本語がわからなければ、そういう間違いはよく起こりますね。

ストレスがたまって いました

Quangさんの技能実習生としての仕事は機械を操作する技術
と効率を求められました。

私の仕事は手動ではなく準自動溶接です。わかりやすく説明すれば、自動車のドアなどを機械にセッティングし、ボタンを押せば、ロボットの腕が溶接してくれます。プロセスは完了したら、パレットに載せます。それだけです。

最初の数週間は、仕事を覚えるだけで、また通訳者もいますので、特に何もありませんでした。ただ、日本語がまだあまり話せない私はいざ一人で作業をしたら、もう大変でした。

あるとき機械の操作手順を忘れたので、日本人のリーダに教えてもらいました。日本語で説明されているとき、その内容がわかりませんが、「はい、はい」と相槌をしてしまいました。そして説明が終わって、わかりますかと聞かれました。その時はじめて、頭を横に振り、わかりませんでしたと答えました。

リーダはとても機嫌悪くなりました。あれだけ説明したのに、最後にわかりませんと答えられたからです。

スパナーを取ってきなさいと言われたのに、モンキーレンチを取ってしまったといったような事件もよくあります。間違った分、作業の進捗は遅くなりました。ノルマを達成できないときは、注意されました。その時、結構ストレスがたまりました。

まあ、ストレスは、経験し成長するためだとらえました。ベトナムにいるとき、何かあったら、実家に帰って母のごはんを食べたり、両親に愚痴をこぼしたりしました。今は、両親に電話するとき、いい話しか話しません。両親と兄弟を心配させたくないからです。

目標を立てて、努力を止めないように自分に言いきかせています

Quangさんは日本での生活に関する経験と声を発信するYouTubeチャンネルを持っています。

日本での思い出を残すために、YouTubeを始めました。ベトナムに帰ったら、どんなことができたのか、どんな体験をしたのか振り返ることができますから。お金をためていて、将来ベトナムに帰って、やりたい仕事をするつもりです。そういう目標を立てて、努力を止めないように自分に言いきかせています。

コロナ感染がひどいとき、会社は新しい社員を採用しないし、私たちも仕事は少なかったです。でも今はだんだん戻り始めています。

日本に働きに行ったら、勤勉に仕事をしなければなりません。ベトナムでもがんばりますが、日本でその10倍、50倍、100倍努力して仕事をやりぬきます。

日本人の同僚に比べれば、外国人の私は言語に不自由があります。そのため、仕事で認めてもらうために、努力しないとイケません。そうしないと目標を達成できませんから。

あなたへのヒント①

Q: 特定技能の在留資格で日本で働いていますね。

A: 特定技能の在留資格に変更しました。在留資格を更新したかったとき、会社に相談しました。すべての手続きも会社に行ってもらいました。特定技能ビザにしてから、メリットが多いです。一つ目は自分で部屋を借りることができるようになりました。基本的に実習生は会社に指定される寮に住まなければなりません。実習生の時、一部屋を2、3人と共有しました。特定技能在留資格にした後、引っ越しをして、今は自分の部屋を持っています。

Q: 日本で仕事をする場合、日本語ができるとどんなメリットがありましたか。

A: SNSで日本での生活についてときどき訊かれます。ベトナムにいる間、日本語をしっかりと勉強すべきだとアドバイスしています。日本語ができるなら、仕事もうまくいきます。例えば、3人グループの中にいちばん日本語ができる人は仕事の指示をもらい、他の人に共有します。そして、その人は能力が発揮できたら、リーダーになれるかもしれません。私の友人も2人リーダーになりました。日本語ができるだけではなく、仕事もできたからです。日本語ができても、仕事はあまりできていないなら信用されません。

あなたへのヒント②

Quangさんは機械の操作手順を教えてもらったとき、わからないと言って、リーダーに怒られてしまいました。怒られてしまうこともありますあが、わからないと伝えることはとても大切なことです。

国際交流基金が作成した日本語学習番組「ひきだすにほんご」の「スアン日本へ行く！」ドラマの主人公も似た経験がありました。スアンはどのように解決したか、ぜひ番組をご覧ください。

<https://www.hikidasu.jp/.jp/corner/drama/02/>

